



2014年12月18日発行 会報第772号

今週のプログラム

(2014年12月18日 第772回例会)

クリスマス例会 (家族例会)

担当: 村田親睦委員長

次週のプログラム

(2014年12月25日 第773回例会)

卓話: バネのお話 (2)

水島 洋 会員

第771回例会 (2014年12月11日) 例会の記録

<ロータリーソング>

全員

♪日も風も星も♪

<本日のビジター>

石田 夕子様(有)ベイリーフ 代表取締役(ゲストスピーカー)

<会長挨拶>

高尾会長

11月25日に南極観測隊が出発しました。1956年に始まった観測事業も今回が56回目です。日本から約1万4千キロも離れた地で、観測隊は何をしているのでしょうか。第56次観測隊の60人は、飛行機で成田空港を出発して、オーストラリア南西部のフリーマントルに向かいます。そこで11日に東京・晴海埠頭を出航した南極観測船「しらせ」に乗り、昭和基地を目指します。最初の関門は「しらせ」を昭和基地に接岸させることです。2011年と2012年出発した時は、2年連続で昭和基地に接岸出来ませんでした。ここ数年、基地周辺の海氷が分厚くなっており、前に進めなくなったのです。その結果、燃料や食料の補給が十分に出来ませんでした。昨年出発した観測隊は「しらせ」を氷に体当たりさせて前に進む「ラミング」を基地の手前約30キロから約2300回繰り返した末、3年ぶりに接岸させました。今年も氷は厚く難航が予想されます。南極では、様々な観測や研究が待っています。第56次隊に重要な任務の一つが、大型レーダーの完成です。約1千個のアンテナを設置して、電離層を含む上空500キロの温度や風、雲などの精密観測を始めます。大気循環の変動を詳細に観測することで、温暖化の将来予測につなげようとしています。また、無人飛行機による大気観測や、東京海洋大の研究船「海鷹丸」と連携

して海水の酸性化についても調べます。南極はオーロラのような特異現象が見られ、「宇宙観測の窓」と言われます。また、大気循環で地球上の様々な物質が運ばれてくるため「地球環境観測の窓」とも呼ばれます。これまで日本の観測隊は、南極上空のオゾンホールを発見したり、多くの隕石を見つけたりするなど様々な業績を残しています。国は年約60億円を投じて南極観測を続ける理由に、こうした南極でしか出来ない研究の存在を上げています。こうした活動をする観測隊には夏隊と越冬隊があります。第56次隊の60人の場合、来年3月まで活動する夏隊が34人、再来年3月までの越冬隊が26人です。南極の夏は12月から2月中旬ごろまでと短く、新たな基地設営や観測機器の設置、内陸基地への補給などはこの間しか出来ません。このため、夏には多くの隊員が必要になります。隊員の出身母体は様々で、研究や観測をするメンバーは国立極地研究所や気象庁、大学に在籍する人が中心です。一方、基地の設営に関わる隊員は、ゼネコンや自動車メーカー、鉄工会社など民間企業の社員が大半です。越冬隊には調理担当者2名や医師も1人います。また観測用ヘリコプターを運航するニュージーランドの技術者5人や、小中学生に南極のことを伝える「南極教室」を開くため教員2名も同行します。60名の隊員のうち30人以上が2度目以上の参加です。

<ピアノ演奏曲>

近藤美里さん

1. Amazing Grace
2. Winter Wonderland
3. Here Comes Santa Claus

#### 4. I Saw Mommy Kissing Santa Claus

<幹事報告>

木下幹事

1.先週に開催されました地区大会への参加御礼が、泉ガバナリー及び地区大会実行委員長より参っておりますので、回覧致します。

2.大阪鶴見ロータリークラブより創立30周年記念誌が送付されました。回覧致します。

3.本日例会終了後『きじ・ひばり』の間にて理事会を開催致します。理事・役員の皆様はご出席ください。

「高槻東ロータリークラブ 例会場変更及び事務局移転のお知らせ」

例会場(2015年1月16日より)西武高槻店6階 多目的ホール

TEL 072-684-5379(直通)

事務局 〒569-1115 高槻市白梅町4-1 西武高槻店 2階

TEL 072-669-7200 FAX 072-669-7264

尚、12月18日 当日は、通信機器が不通になりますので、ご了承ください。

<出席報告>

山下出席担当

会員数(内出席免除会員3名) 23名

本日の出席者数(内免除会員1名) 16名

本日の出席率 76.19%

前々回(11月27日)の修正出席率 90.48%

11月のホームクラブ出席率 83.91%

11月の平均出席率 91.95%

<SAA報告>

#### \*スマイルボックス

黒川会員：選挙にきました。

西本会員：先週欠席のおわび。

コメント無し：岸上会員・松田会員・村田会員・山下会員

#### \*米山記念奨学会

高尾会長：石田夕子様 ようこそ！！

黒川会員：来週は、クリスマス例会よろしく。

木下健治会員：土曜日はセミナー講師ですが、まだ準備が…。

山本雅之会員：来週、休みです。

コメント無し：相原会員・木下吉宏会員・松田会員・

西本会員・山下会員

#### \*ロータリー財団

高尾会長：会長杯に優勝させて頂きました。ありがとうございます。

黒川会員：藤田さん石田さん卓話よろしく。

コメント無し：山下会員

#### \*ラオス基金

高尾会長：昨夜は、岸上会員・水島会員 ありがとうございます。

黒川会員：加奈子さんからメールが来ました。

コメント無し：西本会員・山下会員

#### \*メイプル基金

木下健治会員：明日は、朝一から東京です。

藤田会員：本日、卓話担当です。ゲストスピーカー

石田夕子様どうぞよろしく！！

黒川会員：クリスマス例会に辻本様をよびました。

水本会員：風邪をひいてしまいました。皆様もお気を付けて下さい。

水島会員：藤田会員 卓話よろしく。

西本会員：インフルエンザ流行して来ました。

山本友亮会員：ゴルフ参加のみなさまありがとうございました。今年最後の出席になります。一年間ありがとうございました。

コメント無し：高尾会長・木下吉宏会員・山下会員

<卓話>

担当 藤田 芳浩

ゲストスピーカー 石田 夕子様(有)ベイリーフ 代表取締役

「略歴：1992年同志社大学商学部(商品学ゼミ)卒業後

江崎グリコ(株)に勤務(総合職)退職後、2000年に起業。」

私は、2000年にスノーボードの小物、マリン用品を中心に、全国のスポーツ専門店への卸販売会社としてスタートしました。その後、社内の企画力を活かし、自社ブランドの製造を試み、年々その取り組みを強化してまいりました。特にスノーボードのヒップパッドの開発を先行的に取り組み、2005年には、自社ブランドであるスノープロテクター“雪板鎧®(よろい)”の製造販売を手掛けることになりました。現在では、11名のプロのスノーボーダーとのライダー契約を結び、当社製品をご愛用頂けるまでになりました。五輪選手、整形外科医、スクール指導者らの意見も含め、製品の企画開発については、こだわりをもって取り組んでいます。衝撃実験も行い、安全で体にフィットする製品を作りだすため、見た目ではわからない箇所を納得するまで繰り返しマイナーチェンジを行っています。装着感、動きやすさ、耐衝撃性などを体型に合わせた製品の開発を追及しています。冬季以外の季節を対象としたスポーツプロテクターの開発も取り組みます。主な特長として、吸汗速乾性の高いボディ素材の活用、全体の重量を軽量化、動きやすさを追求して伸縮性に優れた構造に仕上げました。具体的なスポーツの用途としてプロテクターの着用が義務化になった乗馬、受身の練習がきつい柔道の初心者の方、ツーリングの愛好者であるバイクのライダーの方など、他にはないオールスポーツプロテクターの新規事業でイノベーションを行っています。当社のクライアントである大手スポーツ量販店にて、売り場案内にプロテクターというカテゴリーを追加したところ、このカテゴリーでの売上が伸張している実績があります。また、スポーツ分野に限らず、高齢化社会にむけて高年齢の方々の介護用品としての新分野も想定しており、今後も益々市場が高まると考えております。プロテクターで予防可能なケガがたくさんあります。また、プロテクターを着用することにより、痛くない！を実感できれば、スポーツの楽しさや上達を加速してくれることも大きな役割です。当社プロテクターを普及することにより、スポーツや日常生活における“安全”“楽しさ”を社会に広めていきたいと想います。

(担当:藤田 芳浩)